

能登半島地震 復興支援ニュース

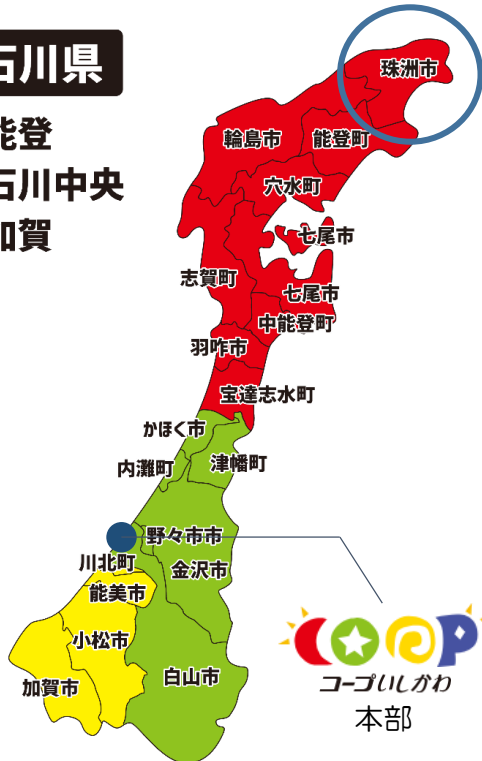
第3号

2024.3.25

奥能登の全市町で配送を再開

石川県

- 能登
- 石川中央
- 加賀



■ 珠洲市で配送を再開

3月11日(月)週より、珠洲市での配送が再開されました。これにより、発災以降休止となっていた奥能登において、全市町で配送を再開することができました。

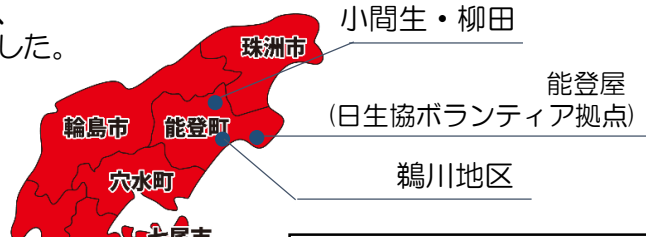
奥能登3市3町で宅配料を無料に

コープいしかわは、3月4回お届け分より、輪島市・珠洲市・能登町・穴水町・七尾市・志賀町での宅配料を無料にしました。
→通常1回110円の宅配料&利用金額に応じて変わる個人宅配基本料が無料

- 上記 3市3町の組合員 計2,505名(12月3回時点)と新規加入組合員が対象
- 期間は 2025年3月4回までの1年間

■ 3/15(金)~17(日) 第2回 ボランティアバスに参加

大阪府生協連主催の第2回ボランティアバスに、支所長・店長をはじめ8名の役職員が参加しました。今回は、能登町にある小間生(おもう)地区と柳田地区、鶴川地区に分かれて炊き出しや被災された家屋の片付け作業を行いました。



(左から) 奥田支所長・千々岩支所長
物流センター 家脇さん



時を同じくしてパルコープ奥井理事長(写真右)も被災地視察訪問へ。ボランティア拠点に駐在する日本生協連・原田さん(写真左)とお会いし、現地状況を伺いました。

被災家屋の片付け作業

3/16(土)午前 鶺川地区にて

班に分かれて2ヶ所のお宅で活動。高齢女性1人暮らしのお宅では、家具や畳を外へ持ち出し産廃場所へと運ぶ作業を行いました。タンスやベッド、神棚、照明器具、襖などいろいろあり、2階から降ろすのも一苦勞。畳だけでもかなり重く男性2人がかりでも大変で、枚数も相当ありましたが、依頼主様に喜んでいただくことができました。



炊き出し

3/16(土)午前・午後 小間生・柳田・鶺川地区にて

- ①小間生（おもろ）公民館…焼うどん 250食、炊き込みご飯 250食（とやま生協様と）他
- ②柳田庁舎前…きつねうどん 300食、炊き込みご飯 400食 他
- ③鶺川仮設住宅…焼うどん 100食、たこ焼き 160食、ウインナー 100食、焼き鳥 100食



鶺川仮設住宅
(旧鶺川小学校グラウンド)
66世帯 110名入居

掲示板には“大阪のたこ焼きお楽しみに”と貼られており、たくさんの方が楽しみに待ってくださっていました。

・今回初めてボランティア活動に参加させて頂きました。テレビの報道とは違い、より現地の状況や大変な思いをされていることがよくわかりました。地元の方から『遠いところから来てくれてありがとうね!』『炊き出しするって聞いていたから楽しみにしていたの』と喜んでいただいていたのが印象的でした。

・炊き出しをきっかけに仮設住人同士のつながりを持ってもらおうと集会所で食べていただけるようにされていましたが、そのまま部屋へ戻ってしまわれており、コミュニケーション不足を気にされていました。今後のボランティアの在り方や復興支援の在り方が問われるのではと思いました。

能登半島地震災害支援募金は【5月1回】まで受付

募金総数：32,531名 40,000,700円(2024/3/18現在)

1月5日より取り組んでいる募金のうち、2月末までに集まっている約3,200万円を、第1次として送金しました。日本生協連を通じて各市町村の被災された方への義援金および被災地支援金としてお届けします。